現代日本恋愛小説における結末の類型化と特徴の歴史的変遷

白鳥　孝幸・村井　源（公立はこだて未来大学大学院 システム情報科学研究科）

概要：恋愛物語は非常に人気の高い物語ジャンルであるが，物語論的な特徴を定量的に分析する試みはあまりなされていない．本研究では，現代日本恋愛小説における特徴を明らかにすべく，社会的に評価の高い恋愛小説 117 作品を収集した．そして，エンディングに着目した恋愛小説の類型化を行い，年代ごとで各類型の割合がどのように変化しているのかを調べた．また，シーンの分割と物語機能を付与したデータを用いて n-gram 分析を行い，各年代ごとに頻出の物語パターンの抽出を行った．

キーワード：物語分析，恋愛小説，類型分類

Historical Changes in the Typology and Characteristics of Endings in Contemporary Japanese Romance Novels

Takayuki Shiratori / Hajime Murai (Graduate School of System Information Sciences, Future University Hakodate)

Abstract: Although the love story is a very popular narrative genre, there have been few attempts to quantitatively analyze narrative features.. In this study, 117 socially acclaimed romance novels were collected in order to clarify the characteristics of contemporary Japanese romance novels. Then, the romance novels were categorized by focusing on the ending, and examined how the proportion of each type changed by age. In addition, n-gram analysis was conducted using the data with scene segmentation and narrative functions to extract frequent narrative patterns for each chronological group.

Keywords:Narrative, Romance Novel, Typology

１．まえがき

物語において「恋愛」はこれまで長い間普遍的な主題または要素として人々の間に受け入れられてきた．例えば，古くを辿れば『源氏物語』や『伊勢物語』は日本における代表的な恋愛物語として現代まで語り継がれている．明治時代に「恋愛」という言葉が生まれ，そこから現代に至るまで，恋愛物語は物語の一ジャンルとして確固たる地位を築き上げつつある．2005 年に出版された『世界の中心で愛をさけぶ』は 321 万部を売り上げ国内小説の最大発行部数を記録し，世間では「セカチューブーム」として社会現象を巻き起こした．また，2016 年に公開された映画『君の名は。』は興行収入 250 億円を突破し，国内映画歴代 3 位という空前の大ヒットを記録した．このように，恋愛物語には多くの人々を惹きつける魅力があることは疑いようがない．

こうした恋愛物語について，これまでは主に人文学的な手法に基づく研究が進められてきた．マイカルス・アダチ[1]は，国内における代表的な恋愛短編小説から，国内における恋愛小説の特徴や国内の恋愛小説と海外のロマンス小説の差異を考察している．　佐藤[2]は，代表的な長編恋愛小説 4 篇を「呼称」という観点から分析し，現代的な恋愛について考察している．このように，代表的な作品を対象としたケーススタディ的な考察は行われているが，データに基づく科学的な裏付けはなされていない．

また，物語にはハッピーエンドやバッドエンド，メリーバッドエンドなど，複数の類型が存在していることが一般的に知られている[3]. メリーバッドエンドとはハッピーエンドとバッドエンドの中間の存在に位置する作品の作風を表す言葉であり，これは近年よく用いられている類型であるが，おそらくエンディングパターンにも時代による変化があることが推測される．これまで，同一著者における作風の変化を計量的に分析した研究[4][5]はあるものの，同一ジャンルでの特徴の変遷を計量的に分析した研究はほとんど行われていない．

そこで本研究では，現代日本恋愛小説におけるエンディングの類型化を行う．また，本研究では純愛ブームを引き起こしたテレビドラマ『世界の中心で，愛をさけぶ』の放送以前と以後で作品全体の作風の変化があるという仮説のもと，対象作品を 2005 年以前と 2006 年以後に分割し，それぞれにおける各類型の比率や物語構造の特徴の変化を抽出する．これらが明らかになることにより，恋愛物語のもつ普遍性の解明や，現在取り組まれている物語の自動生成に応用が可能になることが期待される．

©2021 Information Processing Society of Japan

２．対象データ

佐藤[2]は，一定の形式を備えた海外のロマンス小説とは異なり，日本の恋愛小説はハーレクイン・ロマンスに相当するような独自の文学ジャンルを確立していないことを指摘している．また，アメリカのロマンスライター協会はロマンス小説を「主要なラブストーリーと感情的なレベルで満足するような楽観的な結末」である[6]と定義しているものの，マイカルス・アダチ[1]は，日本の恋愛小説にはアメリカのロマンス小説で要求されるような楽観的な結末がない場合が多いことを指摘している。そこでまず，本研究における恋愛小説を以下の条件で定義した．

- 登場人物同士の恋愛関係を物語の主題としている
- 一定のシーン数と起承転結が存在する

一点目の条件に関して，恋愛物語は当人の恋愛関係だけでなく，登場人物の精神的な成長や課題の解決のようなサブテーマが同時に出現する作品も多く存在する．そこで本研究では，物語の結末位置において主人公の恋愛の結末が描かれている作品を恋愛が主題の作品であると判定した．また二点目の条件は，5 章で述べるシーン分割の基準で物語を分割した際に 4 つ以上のシーンがあり，かつポジティブなシーンとネガティブなシーンがどちらも 1 つ以上存在することを起承転結があると判断した．

対象作品の選定においては，amazon の恋愛小説売れ筋ランキング[7]や book-off の恋愛小説売上ランキング[8]をはじめとした恋愛小説に関するランキングサイト 8 つにおいて，二回以上登場した作品を分析対象とした．作品の年代別の作品数を示したグラフを図 1 に示す．

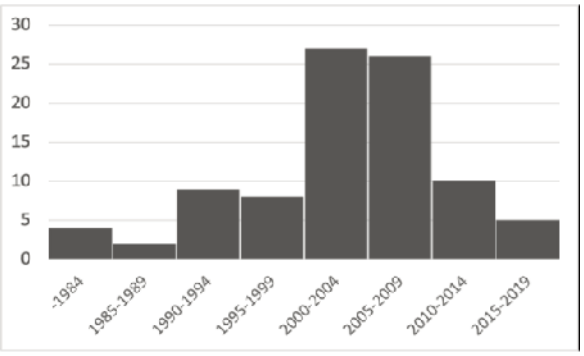

図 1　出版年度別作品数

図 1 から，収集された作品の約 95%が 1990 年以降に出版された作品であることがわかる．これは，Web 上でのランキングが開始された年代や，1990 年以降から恋愛小説が大衆化したことが理由であると思われる．したがって本研究では，初版が 1990 年以降に出版された恋愛小説のみを分析対象とした．また，先述した恋愛小説の定義をいずれも満たさない作品を分析対象から除外した．最終的に，長編・短編を含む全 117 作品を分析対象とした．

３．エンディングの類型化

物語のエンディングにはハッピーエンドやバッドエンドなど，複数の類型が存在していることが一般的に知られている．これはエンディングにおける状況や発生した事象と主人公の感情状態がある程度一致すると仮定しているものであるが，恋愛物語では客観的な事実と主人公の感情状態が一致しないプロットが多く存在する．例えば，エンディングで主人公が恋人と死別するもその悲しみを克服するといった物語において，「恋人との死別」のみを切り取るとバッドエンドだが，主人公はポジティブな感情を示しているという解釈の齟齬が生じる．そこで本研究では「客観軸」と「感情軸」の二軸で恋愛小説のエンディングの類型分類を行った．客観軸では「結ばれる/結ばれない」，感情軸では「ポジティブ/ネガティブ」の二項で分類を行った．ここで示した「結ばれる」とは，物語の結末において主人公が特定の相手と両想い/交際関係/婚姻関係になることを意味しており，「ポジティブ」は主人公が物語の結末において感情的な満足を示しているかを意味している．そのため，例えば「主人公が好きな人と結ばれず，好きではない人と結ばれる」というような物語は「結ばれる/ネガティブ」に分類される．また，ここでは同じ類型が二回以上登場した類型のみを恋愛小説におけるエンディングの類型とした．類型の一覧を表 1 に示す．

表 1　恋愛小説におけるエンディング類型

	結ばれる	結ばれない
ポジティブ	両想い・交際・結婚 和解 再会 (『君の名は。』, 『植物図鑑』など)	円満な破局・離婚 ポジティブ失恋 想い人の死と克服 片想い (『世界の中心で，愛をさけぶ』など)
ネガティブ	好きではない人との交際・結婚 心中 (『曽根崎心中』, 『親指の恋人』など)	不和な破局・離婚 ネガティブ失恋 想い人の死と絶望 すれ違い破局 (『ナラタージュ』など)

４．年代ごとの比較と考察

ここでは，対象作品を 1990 年から 2005 年までに出版された作品を A 群，2006 年から 2021 年までに出版されたものを B 群とした．そして，

©2021 Information Processing Society of Japan

3 章で述べた 4 つの類型それぞれの比率がどのように推移するのかを調べた．2 群それぞれの比率との推移と登場回数をそれぞれ図 2, 表 2 に示す．

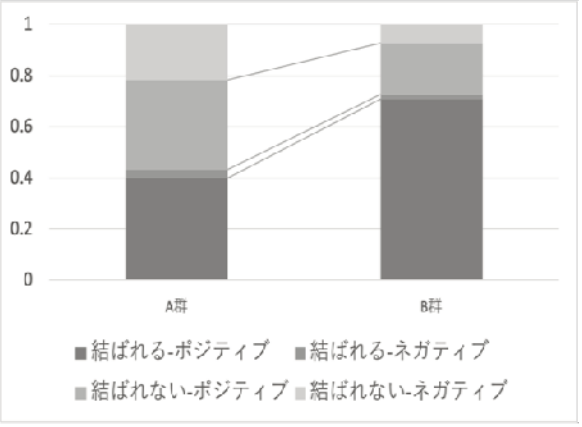

図 2　2 群の類型別作品割合

表 2　2 群の類型別作品数

	結ばれる-ポジティブ	結ばれる-ネガティブ	結ばれない-ポジティブ	結ばれない-ネガティブ
A 群	24	2	22	13
B 群	40	1	11	4

図 2 から，「結ばれる-ポジティブ」の作品割合が大幅に増加し，それに伴い「結ばれない-ポジティブ」，「結ばれない-ネガティブ」の割合が減少していることがわかる．また，感情軸でネガティブに分類された作品は A 群で約 25%であるのに対し B 群では約 9%まで減少している．これは，近年の作品が海外のロマンス小説の特徴である「感情的なレベルで満足するような楽観的な結末」に近い物語の傾向になっている可能性がある．

また，2 群ともに「結ばれる-ネガティブ」の割合は極めて低いことがわかる．これは，物語の類型として存在はするものの，近代から現代にかけての自由恋愛的な思想が一般に浸透したため，現代の恋愛小説においては積極的に描かれない，もしくは大衆化せず一部の読者層のみから好まれるような物語類型なのではないかと推測される．

次に，2 群それぞれで登場頻度の高かった物語類型を表 3 に示す．

表 3　各年代における頻度の高い物語類型

A 群(1990-2005)	B 群(2006-2021)
両想い・交際・結婚(14)	両思い・交際・結婚(27)
想い人の死と克服(10)	再会エンド(8)
ネガティブ失恋(4)	想い人の死と克服(6)
円満な破局・離婚(4)	ポジティブ失恋(5)
片想い(3)	和解(4)
ポジティブ失恋(2)	想い人の死と絶望(2)

表 3 より，2 群ともに恋愛小説の典型的な類型である「両想い・交際・結婚」が最上位であったが，各群それぞれからみた「両想い・交際・結婚」の割合は A 群では 28%，B 群では 50%と倍近くの開きがあった．これは，B 群よりも A 群の方が物語のエンディングのバリエーションに富んでいる可能性が示唆される．同時に，近年はエンディングのバリエーションではなく，登場人物や舞台設定，発生する困難などにバリエーションを持たせることによって物語の差別化を図っている可能性がある．

また，失恋ものの類型において A 群では主人公のネガティブな失恋が上位であったが，B 群では主人公のポジティブな失恋が上位と，対照的な結果が現れた．

５．N-gram によるパターン抽出

従来の物語論におけるシーン分割の手法[9]で，対象作品のシーン分割を行い，村井ら[10]によって作成された定義表にしたがって各シーンに物語機能の割り当てを行った．定義表には大まかな分類として大カテゴリを 29 種類，さらにそれらを細かく分類した小カテゴリを 227 種類設定している．本研究で使用した定義表と 2 群における各カテゴリの登場回数を表 4 に示す．表 4 から，大カテゴリにおける「違反」・「関係変化失敗（色恋）」・「妨害」が B 群よりも A 群で顕著に多く出現していることがわかる．恋愛小説において小カテゴリの「違反」は小カテゴリの「不倫」で用いられることが多いが，不倫とそれによる二者間の不和や破局が共起して出現していることが推測される．

そして，各作品の物語機能の並びを記号列として n-gram 分析を行った．2 群それぞれにおける大カテゴリの 3-gram 上位 10 位までの結果を表 5，表 6 に示す

©2021 Information Processing Society of Japan

表 4　物語機能カテゴリー定義表と出現回数

大カテゴリ	小カテゴリ	A 群	B 群
出現	遭遇, 復活, 登場, 誕生, 出会い, 再会, 見かける	58	74
退場	退出, 死亡, 成仏, 退場, 排除, 自殺, 封印, 別離	21	14
変化	変化, 登場人物の, 変身, 入れ替わり, 別人化, 記憶喪失で別人化, 妊娠	1	1
能力向上	仲間加入, 取り戻す, 成長, アイテム入手, 体調回復, 回復, 治療, 立場の向上, 設備の使用可能化, 美容整形, 能力の一時向上, 能力封印解除	7	7
能力減退	仲間離脱, 盗まれる, 衰弱, アイテム喪失, 体調悪化, 病気, 怪我, 立場の低下, 行動不能, 能力喪失, 記憶喪失, 能力封印	21	14
移動経路入手	経路入手, 開通, 手段入手, 運搬, 転居	1	0
逃亡	逃避, 退却, 撤退, 脱出, 解放, 失踪	9	4
移動経路入手失敗	拘束, 誘拐, 監禁, 軟禁, 逮捕, 封鎖, 限定(移動経路), 変更(移動経路), 経路喪失, 手段喪失	3	3
探索	探索, 調査, 探検, 研究, 実験, 捜索, 追跡, 警戒	1	1
発覚	発見, 情報開示, 真相発覚, 失った記憶を取り戻す, 正しい推理, 発明, 創意工夫, 自供	48	49
誤解	誤解, 勘違い, すれ違い, 幻覚	7	4
疑念	謎発生, 奇妙な出来事, 不穏, 外れた推理, 疑惑, 疑心, 予兆, 糸口, 行方不明	4	7
隠す	隠蔽, 騙す, 乗っ取り, 変装, 詐欺, 偽装, 秘密の共有, 待ち伏せ	6	10
外的情報	世界設定の開示, 蘊蓄, レシピ, プロローグ, エピローグ, 本筋に関係のあまりない過去の事件, 教訓, 余韻	15	16
秩序	約束, 交渉・取引, 遵守, 警告, 予告, 予言	9	8
違反	犯罪, 不注意, 過失, 警告無視, 盗む, 不倫	17	7
意思	願う, 決意, 依頼, 受諾される, 口説く, 目標掲示, 目的地掲示, 説得, 招待, 表明・行動予告	31	26
依頼完了	依頼の達成完了, 願望成就, 目標達成	2	2
依頼失敗	依頼の達成失敗, 目標放棄, 目標達成失敗	2	0
自我を失う	発狂, 暴走, 憑依, 混乱, 錯乱, 茫然自失, 酩酊, 洗脳, 隷属, 意識不明	24	9
関係変化(人間関係)	改心, 反省, 和解, なだめる, 依頼の受諾, 感謝, 赦し, もてなす, 親睦	24	24
関係変化(色恋)	片想い, 両想い, 恋に落ちる, 告白, デート, 結婚, 進展(色恋), 和解(色恋), 交際, 肉体関係	126	129
関係変化失敗(人間関係)	喧嘩, 裏切り, 傲慢, 嫌悪, 依頼の拒否, 挑発, 叱責, 対立, 不親切	33	19
関係変化失敗(色恋)	嫉妬, 失恋, 喧嘩(色恋), 告白失敗, 破局, 離別, 恋愛禁止	59	29
助ける	保護, 救助, 看病・治療, 助太刀・加勢, 激励, 犠牲, 救済, 支援	34	39
妨害	危害, 敵出現, 故意の人災, 理不尽な要求, ナンパ, 脅迫, いじめ・意地悪, 呪詛, 復讐, 迫害	22	13
対決	対決, 戦闘, 競争	2	4
日常	平和, 平穏, 安堵, 安息, 満足, 平凡, 行事・イベント, 解決, 賞賛	8	15
災難	被害, 落胆, 失望, 恥じる, 天災, 呪い, 過失の人災, 危機, 試練, 苦境, 後悔, 不満	15	21
計		610	549

©2021 Information Processing Society of Japan

表 5　A 群の大カテゴリにおける 3-gram

3-gram			頻度
出現	関係変化(色恋)	関係変化失敗(色恋)	14
関係変化(色恋)	発覚	関係変化(色恋)	14
関係変化(色恋)	関係変化失敗(色恋)	関係変化(色恋)	14
出現	関係変化(色恋)	発覚	12
出現	発覚	関係変化(色恋)	11
出現	関係変化(色恋)	退場	11
出現	関係変化失敗(色恋)	関係変化(色恋)	10
関係変化失敗(色恋)	関係変化(色恋)	関係変化失敗(色恋)	10
関係変化(色恋)	助ける	関係変化(色恋)	9
関係変化失敗(色恋)	出現	関係変化(色恋)	9

表 6　B 群の大カテゴリにおける 3-gram

3-gram			頻度
出現	助ける	関係変化(色恋)	20
出現	関係変化(色恋)	関係変化失敗(色恋)	16
出現	関係変化(色恋)	発覚	15
関係変化(色恋)	関係変化失敗(色恋)	関係変化(色恋)	14
出現	発覚	関係変化(色恋)	13
関係変化(色恋)	出現	関係変化(色恋)	13
関係変化(色恋)	発覚	関係変化(色恋)	13
出現	関係変化(色恋)	出現	12
出現	関係変化(色恋)	日常	12
関係変化(色恋)	助ける	関係変化(色恋)	12

結果全体を概観すると，「出現」，「関係変化(色恋)」，「関係変化失敗(色恋)」の 3 つのカテゴリが 2 群共通して頻出していることがわかる．このことから，恋愛小説は特定の人物と出会い，困難を経ながら，恋愛が成就する，または破談する，という展開が基本的な物語パターンであることが確認できる．また，これら以外で頻出している大カテゴリは「助ける」と「発覚」の二つであり，これらは二者間の恋愛関係に大きく影響を与えていることが推測される．

次に，2 群における小カテゴリの度数が 4 以上の 3-gram の結果を表 7，表 8 に示す．

表 7　A 群の小カテゴリにおける 3-gram

3-gram			頻度
出会い	両想い	死亡	6
交際	不倫	破局	5
出会い	肉体関係	真相発覚	5
出会い	デート	真相発覚	4
出会い	再会	両想い	4
出会い	病気	死亡	4
出会い	真相発覚	両想い	4
出会い	真相発覚	死亡	4
肉体関係	真相発覚	決意	4

表 8　B 群の小カテゴリにおける 3-gram

3-gram			頻度
出会い	デート	両想い	7
出会い	真相発覚	両想い	7
出会い	救助	再会	7
出会い	デート	真相発覚	6
出会い	デート	交際	6
出会い	デート	激励	5
出会い	再会	真相発覚	5
出会い	真相発覚	デート	5
出会い	真相発覚	決意	5
デート	告白	両想い	4
出会い	デート	告白	4
出会い	デート	支援	4
出会い	告白	両想い	4
出会い	恋に落ちる	両想い	4
出会い	真相発覚	再会	4

表 7 より，A 群の 3-gram では「出会い→両想い→死亡」が最も高い頻度で出現している．これは，両想いになった二人が病気や事故で非業の死を遂げるといったストーリーの流行を示唆していると考えられる．これは一章で述べた『世界の中心で，愛をさけぶ』にも合致するプロットであるが，本作品の流行前からこのようなプロットの作品が多く存在していたことが明らかになった．

それに次いで「交際→不倫→破局」，「出会い→肉体関係→真相発覚」の出現頻度が高いが，これは 1990 年代から 2000 年代にかけて起こった恋愛観の変容が理由として挙げられる．山田[11]は，1986 年に放送されたテレビドラマ『男女 7 人夏物語』がロマンティック・ラブ・イデオロギー[]を変容させた初めての作品であると指摘している．また，1990 年代は『失楽園』をはじめとした不倫ドラマのピークであり，様々な形の不倫が描かれるようになった年代でもある[12]．加えて，

©2021 Information Processing Society of Japan

当時は不倫を許容する恋愛観を持つ人々が現在よりも多かったことも理由として挙げられる．実際に，「好きなら不倫な関係でもしょうがないと思う」というアンケートに対し，2020 年は 10.5% に対しピークの 1998 年で 20.3%と，二倍近くの開きがある[13]．以上のことから，A 群で「不倫」や「肉体関係」などの物語機能が多く登場していると考えられる．

表 8 より，B 群の 3-gram では「出会い→デート→両想い」，「出会い→真相発覚→両想い」，「出会い→救助→再会」の 3 つが最も高い頻度で登場しており，これらは A 群の結果とは対照的にハッピーエンド，すなわち「結ばれる-ポジティブ」に分類される恋愛物語によく見られる展開が抽出されている．「出会い→デート→両想い」と「出会い→真相発覚→両想い」は特定の人物と出会い，デートや情報開示等の手段によって両想いになる物語展開であり，「出会い→救助→再会」は困難な状況にある人物を助ける際に出会い，その後再会し二人の恋愛関係の発展を示唆する物語展開になっている．

表 7 と表 8 を概観すると，二人が出会った後に二人の関係性を発展させるイベントとして A 群では「真相発覚」が多いのに対し，B 群では「デート」が多いことがわかる．これは，A 群では関係性の発展に秘密の共有や発覚，相手の素性の発覚などで互いの関係性を発展しているのに対し，B 群ではデートで互いの親密度を高めることで物語を展開していると推測される．

８．結論と今後の課題

本研究では現代日本恋愛小説を定量的に分析し，エンディングの類型化と年代ごとの各類型の登場比率を明らかにした．その結果，B 群の「結ばれる」かつ「ポジティブ」に分類される作品，つまり恋愛小説におけるハッピーエンドの作品割合は A 群のそれと比べ約 1.8 倍増加していることが明らかになった．また，n-gram 分析の結果から，年代が経るにつれて不倫物語から純愛物語へと流行が移り変わった可能性が示唆された．

課題として，本研究では短編作品も対象としているが，物語の傾向が似た短編作品が 1 つの短編集に収録されていることもあり，特定の著者の作風が年代の傾向に少なからず影響を与えている可能性も考えられる．そのため，同一著者から選定する作品数に制限をかけることで，より正確な年代の特徴が明らかになることが期待される．また，本研究では直近 30 年間における前半と後半で特徴を分析・比較しているが，さらに対象の作品数を増やすことにより，さらに細かな年代ごとの特徴の変化を確認できると考えられる．

今後は，第二分析者との合議による一致度の検証によってデータの客観性を担保する予定である．また，本研究で得られた結果を恋愛漫画や恋愛映画，海外のロマンス小説などと比較することによって，媒体ごとの恋愛物語の特徴や，日本の恋愛小説と海外のロマンス小説の差異を統計学的に立証することができると考えられる．

参考文献

[1] アイリーン B.マイカルス・アダチ．恋愛小説における日本的なロマン--ハッピーエンドとは何か．比較日本学教育研究センター研究年報，2008，Vol. 6, p. 129-138.
[2] 佐藤響子．言語資源としての呼称の持つ意味: 恋愛小説を例として．横浜市立大学論叢人文科学系列, 2012, Vol. 63, No. 3, p. 95-128.
[3] 白鳥孝幸，村井源．計量文体学を用いた喜劇性と悲劇性の抽出．情報知識学会誌, 2020, Vol. 30, No, 2, p. 276-282.
[4] 工藤彰，村井源，徃住彰文．計量分析による村上春樹長篇の関係性と歴史的変遷．情報知識学会誌, 2011, Vol. 21, No. 1, p. 18-36
[5] 劉雪琴，金明哲，宇野浩二の病気前後の文体変化に関する計量的分析．計量国語学, 2017, Vol. 31, No. 2, p. 128-143.
[6] "About the Romance Genre". https://www.rwa.org/Online/Romance_Genre/About_Romance_Genre.aspx,(参照 2021-9-12).
[7] "売れ筋ランキング". https://www.amazon.co.jp/gp/bestsellers/books/2515232051,(参照 2021-6-1)..
[8] "恋愛小説 100". https://www.bookoffonline.co.jp/book/files/novel-love-renai/,(参照 2021-6-1).
[9] 村井 源，松本 斉子，佐藤 知恵，徃住 彰文．物語構造の計量分析に向けて-星新一のショートショートの物語構造の特徴-，情報知識学会誌, 2011, Vol. 21, No. 1, p. 6-17.
[10] Hajime Murai, Shuuhei Toyosawa, Takayuki Shiratori, et al. Dataset Construction for Cross-genre Plot Structure Extraction, JADH 2021 proceedings, 2021, in press.
[11] 山田昌弘．「婚活」時代．ディスカヴァー携書, 2008.
[12] "「不倫ドラマ」がそろった理由と女優の覚悟". https://toyokeizai.net/articles/-/120633,(参照 2021-10-21).
[13] "生活定点 1992-2020". https://seikatsusoken.jp/teiten/answer/767.html,(参照 2021-10-26)

©2021 Information Processing Society of Japan